

北海道からの導入牛で ヨーネ病を摘発！

北海道から南丹管内に導入された乳用牛1頭で、ヨーネ病を摘発しました。

今回の事例では、導入時の自主検査によって摘発されたため、府内への侵入を防ぐことが出来ました。

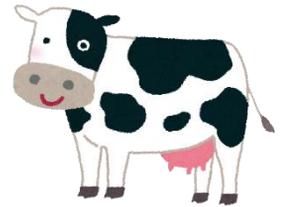
農場を守るため、他県から牛を導入する際には自主検査を行いましょう。

(参考) ヨーネ病自主検査費用 (1頭あたり)



600円 (ELISA法)

1,300円 (PCR法)



(公社)京都府家畜畜産物衛生指導協会から **1/2の補助が出ます**

ヨーネ病とは

- ・牛や綿山羊などの反芻動物がヨーネ菌に感染して起こる病気です。
- ・子牛が哺乳期にヨーネ菌に汚染された乳や水、飼料を口にする事で感染します。
- ・長い潜伏期間(6ヶ月から数年)を経て持続性の下痢や乳量の低下を引き起こします。
- ・感染が確認された家畜は殺処分となり、農場はせり市や品評会等への出品ができなくなります。